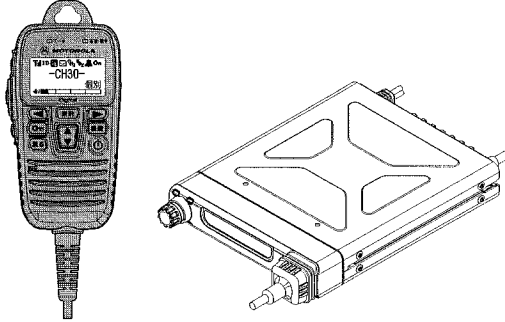


車載型デジタル簡易無線 登録局

GDR4000 取扱説明書



無線局種別コード：3R
4値FSK変調

この車載型デジタル簡易無線機は国内専用モデルです。
海外では使用できません。

デジタル簡易無線機の保証と責任

I. 保証対象及び保証期間：

本デジタル簡易無線機器は、株式会社パーテックススタンダード(以下「当社」といいます)で製造されたものです。

当社は、正常な使用状態で下記のデジタル簡易無線機器(以下「製品」といいます)の材料上又は製造上の欠陥に対し、ご購入日より以下に示す保証期間内の保証を行います。

無線機本体 2年間
アクセサリ(マイク、直流安定化電源、外部スピーカ等を含む) 1年間

当社は本保証規定に従い、保証期間内は無料で製品の修理(純正部品を用いて)、交換を致します。本体またはアクセサリの保証期間に関しましては、お客様がご購入になった製品の保証期間で算定されます。交換した製品または部品は当社の所有となります。

本保証書は製品ご購入者に限り有効であり、第三者に譲渡されるものではありません。当社役員による署名付きの書面での同意がある場合をのぞき、本保証書への追加及び変更に対して、当社はいかなる義務及び責任を負いません。当社と製品ご購入者の間で個別の同意がない限り、当社は製品の取り付け、メンテナンス又はサービスの保証は行いません。当社は、製品に装着又は接続して使用される当社及びモトローラ供給以外のアクセサリを使用した製品の運用に対し、いかなる責任も負いません。

通信システムで本製品が使用される場合、当社は、そのシステム全体、サービスエリア、運用等をまとめて本保証規定で保証するものではありません。

II. 保証規定：

本保証書は、製品に対する当社の責任と保証を定めたもので、一切の保証は保証期間内に限定されます。

当社は当該製品の使用もしくは不使用に起因するご購入者の被る逸失利益、業務の中断、機会の損失やこれらに類する損害、または二次的損害等についての責任を負いません。

III. 以下は保証対象外となります：

- A) 製品を正常かつ通常の使用方法でお取り扱いにならないことよって生じた故障及び損傷。
- B) 誤った、又は乱暴なお取り扱い、事故、腐食、火災、水害、又は放置によって生じた故障及び損傷。

デジタル簡易無線機の保証と責任	1
はじめに	4
安全上のご注意	5
防塵性について	9
構成部品	9
ご使用にあたっての準備	10
各部の名前と機能	11
本体	11
コントロールマイク“GDCM-001”	12
液晶表示部	14
LEDの動作概要	15
設置と接続	16
電源の接続	16
アンテナの接続	16
コントロールマイク“GDCM-001”の接続	17
車載用ブラケットの取付け方	17
GPSレシーバー“FGPS-3KIT”について	17
通信の基本操作	18
呼び出しを受けたとき	23
通話に関する留意事項	24
キャリアセンス機能	24
その他の基本ボタン操作	25
モニターボタン	25
キーロックボタン	25
緊急ボタン	26
選択ボタン	26
機能ボタン	27
個別通信設定と受信待ち受け画面について	27
簡易リスト	28
送受信メニュー	32
拡張機能(コールモード)	36
拡張機能(セットモード)	46
故障かな?と思ったら	57
アフターサービス	57
オーバーホールのお勧め	57
定格	58

- C) 誤った、又は認可されていないテスト、使用、メンテナンス、サービス、修理、取り付け、変更、修正、又は調整によって生じた故障及び損傷。
- D) 説明書に記載の使用方法に反するお取り扱いを受けた製品。
- E) 製品の性能に支障をきたす、又は正常な保証検査及び補償請求確認のための製品テストを妨げるような、認可されていない改造、加工、分解、純正でない部品の使用と修理(当社が認可していない装置を使った製品に対する追加を含む)がなされた製品。
- F) 製造番号が取り除かれた、又は製造番号が判読できない製品。
- G) 利用者の修理が認められていない部品又はモジュールに付いたシールが外れている製品。
- H) 修理品発送に対する送料。
- I) 製品のソフトウェア/ファームウェアに不法又は無許可の変更が加えられている製品。
- J) 製品の運用に影響を与えない、製品の表面に付いた傷、又は外観上の損傷。
- K) 正常なご使用においての自然消耗、摩耗。
- L) 当社でプログラムされていないメモリーモジュール。
- M) 保証期間を過ぎた保証請求。

IV. 特許及びソフトウェア規定：

当社供給以外のソフトウェア、装置一式又はその一部を備えた製品又は部品の組み合わせに基づいた特許権の侵害請求に関して一切の責任を負いません。また、当社は製品に装着又は接続する、モトローラ供給以外の付属品又はソフトウェアの使用に対していかなる責任も負いません。上記は、製品又は部品に関し、特許権の侵害に関する当社の全責任を提示したものです。法律により、版權で保護された当社のソフトウェアのコピー制作及びコピー流通の占有権など、当社の特定の占有権は保護されています。当社のソフトウェアは販売時に組み込まれている製品内でのみ使用されるものであり、当該製品の当該ソフトウェアはいかなる交換、コピー、流通、修正及び派生物の製造に使用されるものではありません。当該当社ソフトウェアの無制限の変更、修正、再生、流通、リバースエンジニアリング及び当該当社ソフトウェアが有する諸権利の行使などは禁じられています。当社の特許権又は著作権の元でない限り、いかなる許可も含意及び禁反言によって認められるものではありません。

V. 保証サービスの受け方:

保証サービスを受けるためには、ご購入を証明するもの(ご購入日と製品製造番号が明記されてあるもの)を添え、ご購入の販売店までご持参又は郵送してください。送料、保険はお客様のご負担になります。

VI. お問い合わせ先:

本保証規定に関してのご不明な点は下記までご連絡下さい。

株式会社パーテックススタンダード

電話 03-3719-2231 URL <http://motorola-bizunit.jp/>

© 2010 VERTEX STANDARD CO., LTD. All rights reserved.

安全上のご注意

製品の安全性と電磁波による影響(車載型無線機用)

本機を他の使用者に譲渡する場合には、使用者は、必ず本機の電磁波についての取り扱いが書かれた説明書(本書)を添えてください。



電磁波エネルギー被曝限度(電波が人体に与える影響において、人体が受けても差し支えない限度)について国際基準に準拠するには、以下の手順に従ってください。

- ・PTT(送信ボタン)を押して送信し、受信する場合にはPTT(送信ボタン)を離します。車外に人がいる場合は、外部アンテナから最低限の距離(20センチ以上)離れていることを確認してから送信してください。
- ・アンテナの取り付けにあたっては、アンテナメーカーからの要件を確認し、適切なアンテナをご使用ください。また、取付説明書の指示に従い、正しく設置してください。
- ・無線機を固定局として使用する場合、アンテナは可能な限り屋外の屋根やアンテナ塔に取り付けてください。
- ・固定アンテナの取り付けについては、それぞれの施設管理者の責任において、適切な規定に準拠しなければなりません。また、電磁波被曝の基準を超えないために、必要に応じて測定、看板の設置、立ち入り禁止措置などを行わなければならないこともあります。
- ・車載アンテナの取り付けについては、オートバイを除く金属ボディの自動車または適切な接地面を備える車両に限定されます。
- ・ABS、エンジン、ミッションなどの電子制御機器と無線機との電波干渉を避けるために、無線機の取り付けは、以下に留意してください。
 1. 無線機取り付けの際の注意事項などをご参照ください。
 2. 無線機取り付けの前に、車内の電子制御モジュールやハーネスの位置を確認してください。
 3. 無線機の配線(アンテナ線を含む)を、可能な限り電子制御機器やその関連の配線から遠ざけて配置してください。
- ・50%の定格使用時間率を超えて送信しない。
送信を使用時間率で50%以下にすることが重要です。送信は手短に行うよう心がけてください。
- ・純正のアクセサリをご使用ください

はじめに

このたびはモトローラの車載型デジタル簡易無線機「GDR4000」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書はGDR4000の標準的な操作方法について説明した取扱説明書です。ご使用前に必ずお読みください。

●ご注意

- ・通話は、無線局登録・開設届けに記載されている目的、通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。ただし、人命の救助、洪水、火災などの災害時に、人命にかかわる通信を行うときはこのような制限はありません。
- ・他人の通話を聞いて、これを漏らしたり悪用することは電波法令で禁じられています。
- ・本機は電波法令で定められた技術基準に適合(合格)していますので、分解や改造は電波法令で禁じられています。

●本文中のマークの意味は次のようになっています。

	危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。
	お願い	性能を十分発揮できるように、お守りいただきたい事項です。
		行ってはならない禁止事項です(例 分解禁止)。
		必ず守っていただきたい注意事項です。



医療機器について

病院、および医療機関では外部電磁波エネルギーの影響を受けやすい機器を使用していることがあります。

電源を切るよう指示されている場所では無線機の電源を切ってください。



ペースメーカー

米国先進医療技術工業会(Advanced Medical Technology Association)(AdvaMed)は、車載型無線機とペースメーカーの間の距離を少なくとも15cm(6インチ)は維持することを推奨しています。

ペースメーカーを着用されている方は本機のご使用を控えてください。やむを得ず車載型無線機を利用する場合は必ず、無線機を着用のペースメーカーから少なくとも15cm(6インチ)は離しておいてください。

・何らかの理由により、妨害が生じていることが疑われる場合には、すぐに無線機のスイッチをオフにしてください。



安全運転について

・運転中に無線機やコントロールマイクを使用しないでください。

運転中に無線機をご使用になる場合は、まず車両を安全な路肩に寄せ、停車してから、通話をおこなってください。



エアバッグのある部分、またはエアバッグが膨らむ場所に無線機を設置しないでください。

エアバッグは強い力で膨らみます。無線機がエアバッグの膨らむ場所に設置されている場合、エアバッグが膨らみますと無線機が強い力で押され、車の搭乗者がけがをする原因となります。



爆発の恐れのある場所に立ち入る場合、立ち入る前に無線機のスイッチをオフにしてください。

(爆発のおそれのある場所とは、危険なガス、蒸気、または埃がある可能性があり、危険であると分類され、とりわけ爆発のおそれのある場所のことを言います。)

爆発の恐れのある場所で火花が飛ぶと、爆発や火災の原因となり、けがまたは死亡する危険があります。



発破区域および雷管の近くでは無線機の電源を切ってください。

爆発に影響を与えないよう、「発破危険」のように表示されている場所では、無線機の電源を切ってください。



アンテナが壊れている車載型無線機は使用しないでください。
壊れているアンテナの導体が皮膚に触れ、送信した場合、軽いやけどをすることがあります。



不正な修理をおこなったり、ラベルの貼り替えを行いますと、その機器の認定が無効となることがあります。



当社製機器は、取扱説明書のリストに掲載されるアクセサリが認定機関によって認定されています。
アクセサリとの組み合わせは、厳密に遵守する必要があります。

●その他の安全上の注意



その他使用にあたって
ゴルフ場などの野外で無線機を使用中に雷鳴が聞こえた時は、落雷のおそれがありますので無線機を使用しないでください。



その他電子機器との混信
正しく設置されていない、また、十分にシールドされていない自動車の電子操作系統や娯楽用機器など、電磁波によって影響を受ける場合があります。その場合、それぞれの販売メーカーまたは販売店に、それらの設備が外部からの電磁波から適切にシールドされているかどうかご確認ください。また、自動車などに別途追加した設備についてもご確認ください。



異常に温度が高くなるところや、直接雨や水のかかる場所に無線機を放置しないでください。変形や故障の原因になる場合があります。



直射日光のあたる場所や高温になる所、極端な低温環境に無線機本体を置かないでください。変形や故障の原因になる場合があります。



無線機やマイクに強い衝撃をあたえたり、投げつけたりしないでください。

●取扱い上のお願い



無線機本体の清掃の際は、固めの豚毛のブラシに薄めた洗剤溶液(台所用中性洗剤を水に混ぜて作ったもの)を少量つけて軽くこすってください。清掃後は、糸くずのつかない布できれいに拭き取ってください。また、洗剤の溶液がコネクタ付近、または溝や割れ目に残らないように注意してください。



無線機を直接、洗剤の溶液の中に入れるようなことは絶対にしないでください。



溶剤やアルコールなどで無線機を清掃すると、無線機を傷つけたり破損したりすることがあります。



熱風、温風(ドライヤーなど)を無線機にあてないでください。



マイク、スピーカ部に尖ったものを差し込まないでください。



ご使用になる環境はそれぞれ異なりますので、全ての状態で性能を保証するものではありません。



製品本体の性能を維持するためには、異常の有無に関わらず保証期間経過後、1年に一度のメンテナンスをお勧めします(有償にて承ります)。



過失等、故障内容によっては、保証期間内においても有償修理の対象となる場合があります。

防塵性について

本機は、IP5X相当(JS保護等級5種防塵相当)の防塵性能を有し、埃などで無線機の性能を損なわないように保護されていますが、埃などがスピーカやマイク部分の表面に蓄積した場合、音量が小さくなったり、音質が悪くなったりすることがありますので定期的に確認、清掃することをお勧めします。

構成

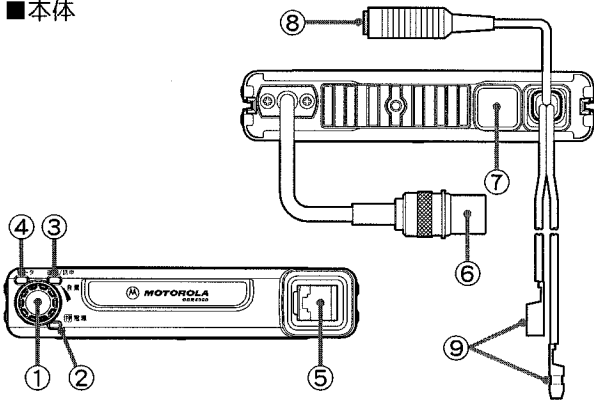
◎ 無線機本体	1
◎ コントロールマイク "GDCM-001"	1
◎ 車載用ブラケット	1
◎ 車載用ブラケット取り付けビス	一式
◎ DC電源ケーブル	1
◎ 予備ヒューズ(5A)	2
◎ マイクフック	1
◎ マイクフック取り付けビス	2
◎ 取扱説明書(本書)	1

ご使用にあたっての準備

- 本機は、デジタル簡易無線機(登録局)として認証を取得しています。無線局の登録および開設申請をすることでご利用いただけます。
- 登録申請および開設申請につきましてはご購入いただきました販売店、または弊社営業所までお問い合わせください。
- 本機は、ARIB規格に準拠していますので、他のデジタル簡易無線機(種別コード「3R」)との互換性を確保しています。
※ ARIB規格以外の機能の互換性はありません。
- 使用形態にあわせた設定
ご利用については、工場出荷時の基本設定でご利用いただけますが、ご使用形態にあわせたカスタマイズが必要な場合は、ご購入に際し当社販売店とご相談の上、無線機の設定を行ってください。
- ◎ 基本設定
運用に必要なUC(ユーザーコード)や秘話コードなどを設定します(購入時に販売店で設定を行います)。
- ◎ カスタム設定
ご利用形態にあわせた個別通信機能(個別選択呼出し機能)のIDや名称設定、GPSアクセサリ、データ通信ケーブルの取り付けなどをおこないます。購入時に販売店とご相談の上、設定をおこなってください。

各部の名前と機能

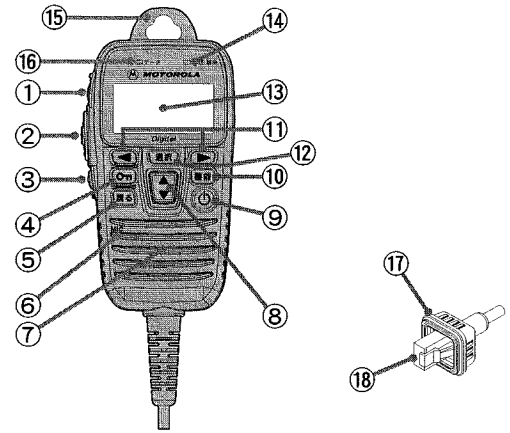
■本体



- ① 電源スイッチ / 音量調節ツマミ 押すと電源“ON”、再度押すと電源が“OFF”になります。まわして音量の調節をします。
- ② 電源 LED 無線機の電源が“ON”の時に緑色で点灯します。
- ③ 通話表示 LED 無線機の状態に応じて点灯、または点滅で表示します。
- ④ データ通信 LED データ通信中は“オレンジ色”に点灯します。
- ⑤ コントロールマイク 付属のコントロールマイク“GDCM-001”を接続し接続端子です。
- ⑥ アンテナコネクタ アンテナを接続します(M型コネクタ)。
- ⑦ 外部アクセサリ用 ケーブルアクセサリ用のケーブルを取り付ける穴です。ケーブル取付穴 通常は防塵キャップが取り付けられています。
- ⑧ 外部スピーカージャック 3.5 φミニピンジャック(メス)です。アクセサリの外部スピーカーを接続します。
- ⑨ DC電源コード 付属のヒューズ付DC電源ケーブルを使って12V/24Vのバッテリーまたは、専用直流安定化電源装置“FP-33”に接続します。

11

■コントロールマイク“GDCM-001”



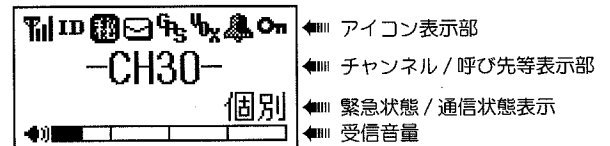
- ① 緊急ボタン 緊急時に約2秒間押し続けることで、緊急モード動作になります(緊急モード:26ページ参照)。
- ② PTTボタン PTTボタン(送信ボタン)を押すと、無線機は送信状態になります。放すと待ち受け/受信状態になります。
- ③ モニターボタン 無線チャンネルをモニターするときに押します。
- ④ キーロックボタン 2秒間押し続けると、誤って各種ボタンに触れても設定が変わらないようにロックすることができます。もう一度2秒間押し続けるとロック解除となります。
- ⑤ 戻るボタン 各種設定を行っているときに、1つ前の状態に戻すことができます。
- ⑥ マイク ここに向かって話します。
- ⑦ スピーカ ここから相手の音声や操作音が聞こえます。

12

- ⑧ ▲/▼ボタン 音量の調節をします。簡易リストの設定や送受信メニューでは、アップ/ダウンスクロールボタンになります。
- ⑨ 電源ボタン 1秒以上押し続けることで電源のオン/オフをします。
- ⑩ 機能ボタン 簡易リスト画面(28ページ参照)に切り替わります。個別通信モードでは、2秒以上押し続けることにより送受信メニュー(32ページ参照)に切り替わります。
- ⑪ ◀/▶ボタン チャンネル切替え及び個別選択呼出しの呼先個別番号(ID番号)の切替えをします。
- ⑫ 選択ボタン ● “選択”ボタンを押しながら“電源”ボタンを押すことで拡張機能画面になります。
● 選択呼出し表示中、「一斉⇒グループ⇒個別⇒一斉・・・」の順番に切替わります。
- ⑬ フルドットディスプレイ 各種状態や情報を表示します。
- ⑭ 通話表示 LED 受信中は通信モードにより“緑色”“水色”“青または白色”の点滅、送信中は“赤色”または“青色”に点灯します。
- ⑮ ハンガーフック コントロールマイクをハンガーに掛けるためのフックです。
- ⑯ データ通信 LED データ通信中は“オレンジ色”に点灯します。
- ⑰ 防塵カバー 無線機にモジュラージャックを差し込んだ後は、防塵カバーをしっかりとカバーしてください。
- ⑱ モジュラージャック コントロールマイクを本体と接続するためのコネクタ(10ピン)です。

13

■液晶表示部



📶	アンテナ(電界強度表示/送信出力表示) 受信時:受信している電波の強さに応じて4段階で表示します。 送信時:5W出力時は“T”,1W出力時は“T”が点灯します。
ID CH	◀▶ボタンの動作表示 ID:呼び先選択機能として動作します。 CH:チャンネル選択機能として動作します。
🔒	秘話(デジタルモードで秘話運用の場合に点灯します)
✉	メッセージ ショートメッセージ送信中および、受信中に点滅します。
📍	GPSの捕捉状況 消灯:GPS受信機を接続していない状態 点滅:GPS衛星を捕捉中の状態 点灯:GPSデータを正しく受信している時
🗣	VOX機能 VOX機能が動作中に点灯します
🔔	ベルアイコン 個別通信時に点灯します。
🔒	キーロック 設定されたボタンやツマミがロックされ、無効の状態の時に点灯します。
🔊	音量(ディスプレイ左下側に表示します) アイコン横のバーで音量位置の目安を表示します。

14

LEDの動作概要

通話表示およびデータ通信LEDは通信状況・動作状況に応じて下記のように点灯・点滅します。

通話表示LED

LEDの色・状態	通信(動作)状態
緑色点滅	UC 通信受信時、他局通信時
緑色点灯	モニター動作時
赤色点灯	UC 通信送信時、個別通信送信時
青色点滅	デジタル秘話 UC 通信受信時、デジタル秘話個別通信受信時
青色点灯	デジタル秘話 UC 通信送信時、デジタル秘話個別通信送信時
水色点滅	個別通信受信時
水色点灯	個別通信および、デジタル秘話個別通信での、通話保持時間の時(および不在着信時)
白色点滅	緊急アラーム動作時および緊急信号着信時

データ通信LED

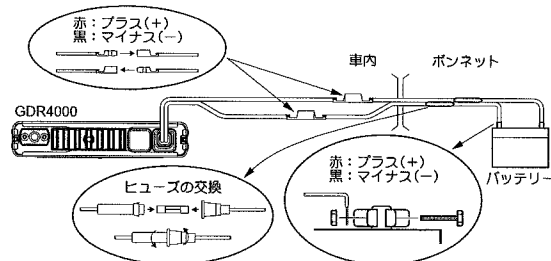
LEDの色・状態	通信(動作)状態
オレンジ色点灯	データ通信中

設置と接続

電源の接続

車載で使用する場合

- ◎ 車のボディにバッテリーのマイナス(-)電極が接続してある“マイナス接地”の車でご使用ください。
- ◎ 必ず付属の電源コードを使用し、電源のプラス(+)側端子に電源コードの“赤線”、マイナス(-)側端子に電源コードの“黒線”を接続してください。
- ◎ 電源を接続した後は必ず、コネクタ部分に絶縁カバーを被せてください。



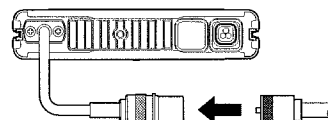
事務所などで使用する場合

事務所などで使用する場合は、別売りの専用直流安定化電源装置“FP-33”をご使用ください。
設置方法は、FP-33に付属の取扱説明書をご覧ください。

アンテナの接続

簡易無線機用のアンテナを、アンテナコネクタに接続してください。

- ◎ 使用できるアンテナに関しては、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- ◎ アンテナを接続した後は必ず、コネクタにカバーを被せてください。



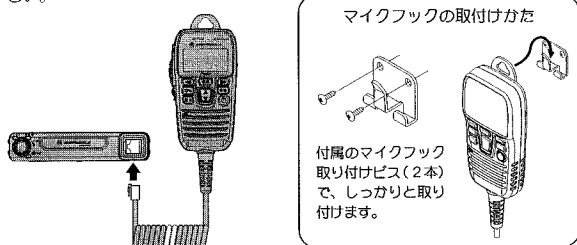
15

16

コントロールマイク“GDCM-001”の接続

コントロールマイク“GDCM-001”のコネクタを、「カチッ」と音がするまで無線機本体の接続端子に差し込んでください。

- ◎ コントロールマイクを接続した後は必ず、コネクタ部に防塵カバーを被せてください。

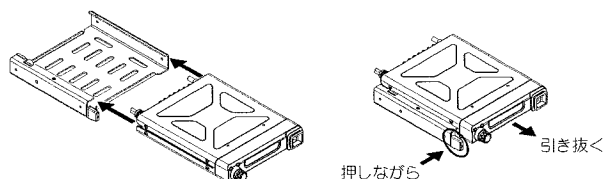


車載用ブラケットの取付けかた

下図を参考にして、無線機側面の溝を車載用ブラケットに「カチッ」と音がしてロックがかかるまで確実に差し込んでください。

無線機を車載用ブラケットから外す場合は、矢印で示す箇所を押しながら、無線機本体を引き抜きます。

- ◎ 車載用ブラケットは、付属のブラケット取り付けビス(4本)でしっかり取り付けてください。
- ◎ 車載用ブラケットは、上下どちら側にも取り付けることができます。

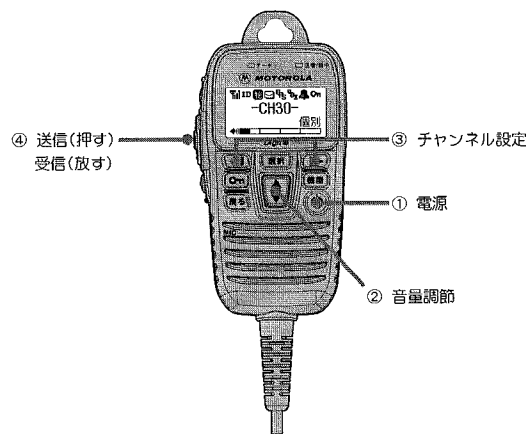


GPSレシーバー“FGPS-3KIT”について

“FGPS-3KIT”は、本機を利用した位置情報を取得するための専用アクセサリです。GDR4000への取付は、販売店でのみ可能ですので、ご購入の際は販売店にご相談ください。

17

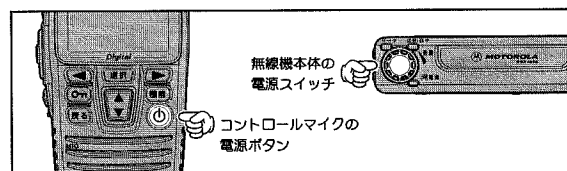
通信の基本操作



① 電源を入れます

電源ボタンを約1秒間押し続けると、電源が入ります。

- ディスプレイに起動画面が約2秒間表示され、「ビポッ」という電子音とともに待ち受け画面に変わります。
- 無線機本体の電源スイッチを約1秒間押すことでも電源を入れることができます。

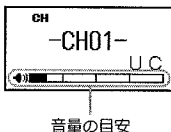
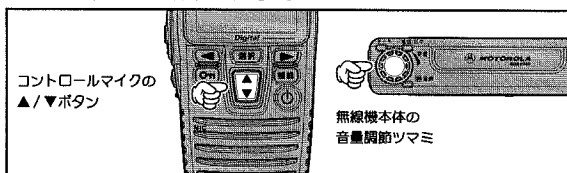


18

② 音量を調節します

“▲”または“▼”ボタンを押して、ピープ音が適切な音量になるように調節します。

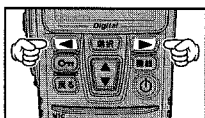
- 無線機本体の音量調節つまみでも、音量を調節することができます。この場合ピープ音が鳴りませんので、ディスプレイ下部の音量バーを目安に調節してください。



③ チャンネルをあわせませす

“◀”または“▶”ボタンで、通話したい相手と同じチャンネルにあわせませす。

- ディスプレイに“CH”が点灯しているときに、チャンネルを選択することができます。“CH”が点灯していない場合は“簡易リスト”の“キー切替”を行ってください(28ページ参照)。
- 使用できるチャンネルは、“-CH01-”～“-CH30-”です。
なお、“Call-CH15”は呼出し用チャンネルのため、ユーザーコードおよび秘話(45ページ参照)は自動的に解除されます。



“CH”の表示



相手局と同じチャンネル

ピープ音によるチャンネル確認

チャンネル1に合わせた時、“ポピビ”というピープ音が鳴りますので、コントロールマイクのディスプレイが確認できないような場合でも、チャンネル1を確認することができます。

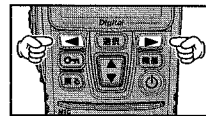
④ 通話したい相手局を選択します

特定の相手を選択する必要が無い場合は⑤に進んでください。

個別通話で相手呼び出す場合は、次の手順で相手局を選択します。

“◀”または“▶”ボタンで、通話したい相手局を選択します(下表参照)。

- ディスプレイに“ID”が点灯しているときに、相手局を選択することができます。“ID”が点灯していない場合は“簡易リスト”の“キー切替”を行ってください(28ページ参照)。
- あらかじめ個別通話設定がされている場合は、電源投入後の待ち受け画面に「呼び出す相手局」と「個別」、「グループ」、「一言」のいずれかが表示されます。



“ID”の表示



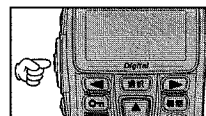
呼び出したい相手局
個別・グループ・一言

選択できる相手局	動作
一言	設定した全ての局を呼び出します。
グループ番号 またはグループ名	設定したグループに属する全ての局を呼び出します。
個別番号 または個別名称	設定した局だけを呼び出します。

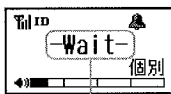
⑤ 送信(通話)します

PTTボタン(送信ボタン)を押しながら、マイクに向かって話します。

- 他の通信への混信を防ぐため、送信開始直前には、キャリアセンス機能(24ページ参照)が自動的に動作します。
- マイクと口元の間隔は、5cm位が適当で、普通の声量で話します。マイクと口元の距離が近すぎたり、声が大きすぎたりすると、音声割れたり、歪むことがあります。



- 他の通信を受信中(通話表示LEDが緑色に点滅中)、にPTT(通話)ボタンを押すと、キャリアセンス機能(24ページ参照)により、送信禁止アラームが鳴り“-Wait-”が表示されて送信できないことがあります。この場合、通話表示LEDの緑色の点滅が消えてから、再びPTT(通話)ボタンを押してください。
- PTT(通話)ボタンを押している間に受信している電波がなくなると、チャンネルの空きを自動的に判断し、送信状態になります。
- 送信中は、通話表示LEDが赤色または青色に点灯し(15ページ参照)、LCDに“Til”が点灯します(送信出力が1Wに設定されている場合は“T”が点灯します)。
- 連続送信時間は5分未満と決められています。本機では送信を開始してから約4分50秒後にアラームが「ビビビ」と鳴り、送信開始から5分が経過する前に、自動的に送信が止まります。そのままPTTボタン(送信ボタン)を押し続けた場合、送信を開始してから5分間経過すると、その後1分間は送信禁止状態になります。アラームが鳴った際は、速やかに送信を中止してください。



“-Wait-”が表示



“Til”が点灯

⑥ 相手の音声を受信します

PTTボタン(送信ボタン)を放すと受信状態になり、送信を開始した相手の話を聞くことができます。

- 信号を受信すると、通話表示LEDが点滅し(15ページ参照)、電波の強さに応じて、ディスプレイの“アンテナマーク”が点灯します。
- 個別通話の場合、相手の話が終わると通話保持時間(初期値は5秒)がお互いに設定されます。応答は、通話保持時間(応答待ち時間)の間に行ってください。

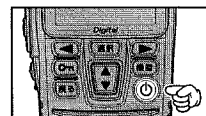


信号を受信すると点灯

⑦ 電源を切ります

電源ボタンを約1秒間押し続けると、電源が切れます。

- 無線機本体の電源ボタンでも電源を切ることができます。
- 直流安定化電源装置“FP-33”を使用している場合は、“FP-33”の電源を先に切った場合、無線機の設定変更が記憶されないことがありますので、無線機の操作をした後1～3秒程度経過してから、“FP-33”の電源を切ってください。

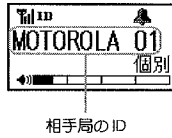


呼び出しを受けたとき

個別通信方式で呼び出しを受けると、ディスプレイ表示の点滅、電子音(着信ベル)、LEDの点滅により、呼び出しがあったことを知らせ、同時に通話保持時間(初期値は5秒)が設定されます。
 すぐに応答することができなかった場合、通話保持時間が経過すると“不在着信状態”となり、呼び出してきた相手局IDの表示が点滅します。その状態でPTT(通話)ボタンを押すと、相手局を呼び返すことができます。
 不在着信状態をキャンセルする場合は、“戻る”ボタンを押してください。
 個別通信で呼び出された方式(個別、グループ、一斉)による電子音(着信ベル)などの設定は、“拡張機能”(36ページ参照)を参照してください。また、LEDの表示については“LEDの動作概要”(15ページ参照)を参照してください。

個別呼び出しを受けたとき

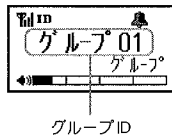
ディスプレイに、呼び出してきた相手局のIDが点滅表示されます。



相手局のID

グループ呼び出しを受けたとき

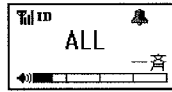
ディスプレイに、呼び出されたグループのIDが表示されます。



グループID

一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、“ALL”が表示されます。



通話に関する留意事項

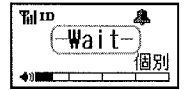
キャリアセンス機能

基準値以上の強さの電波を受信している場合は、混信を防止するために、送信を禁止する機能です。
 本機は、デジタル簡易無線機登録局として、キャリアセンス機能を搭載しており、電波法およびARIB規格により、以下の2つの方式から選択することができます*。

- 方式1：送信(PTTを押す動作)のたびに、キャリアセンスを行う方式。
- 方式2：一度キャリアセンスを行って送信した場合、その後5分間はキャリアセンスを省略することができます。但しこの5分間の中で、3秒間の応答待ち時間中に応答がない場合には、キャリアセンスの省略はキャンセルされます。
 ※個別通信時は、自動的にキャリアセンス方式1が選択されます。

※本機は、工場出荷時には“方式2”に設定されています。“方式1”でご使用になる場合には、お買い上げいただきました販売店またはお近くの営業所/サービスセンター宛にお問い合わせください。

キャリアセンス機能で送信が禁止された場合は、ディスプレイに“-Wait-”を表示すると同時に「ポポ・・・ポポ・・・」と電子音が鳴り、送信できないことを知らせます。



本機のキャリアセンスの動作と連続送信時間(電波法および、ARIB規格準拠)

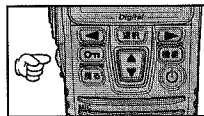
	キャリアセンス方式1 (毎回監視モード)		キャリアセンス方式2 (通話中省略モード)	
	時間	電子音	時間	電子音
連続送信制限時間 (送信の連続)	5分未満 (約4分50秒で予告音)	ビビビ	約4分30秒 (約4分10秒で予告音)	ビビビ
通話時間制限 (送受信の合計時間)	-	-	-	-
通話時間リセット (送受信共無し)	-	-	3秒後 (水色LED点灯)	ポ

その他の基本ボタン操作

モニターボタン

モニターボタンを押すと、異なる個別IDやUC(ユーザーコード)の音声をモニターすることができます。

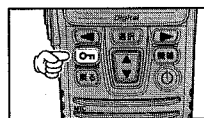
- 秘話通信機能が動作している無線機の音声を、モニターすることはできません。



キーロックボタン

誤って各ボタンを押しても、チャンネルなどの設定が変わらないようにすることができます。

“Om” ボタンを2秒間押し続けると、ディスプレイに“Om”が点灯し、ボタンがロックされます。



- キーロックが動作中に各ボタンを押すと、ピーブ音が鳴り、ロック中であることを知らせます。
- キーロックをしても、電源ボタン、緊急ボタン、PTT(通話)ボタン、モニターボタン、音量調整ボタン(▲/▼ボタン)またはツマミはロックされません。
- PTT(通話)ボタン、音量調整ボタン(▲/▼ボタン)またはツマミについてはロックすることができます(販売店にご相談ください)。

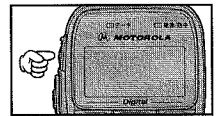
ロックを解除するには

- ロックが動作中に“Om”ボタンを2秒間押し続けるとロックが解除されます。
- ディスプレイの“Om”表示が消えます。

緊急ボタン

不慮の事故などの緊急事態を、アラーム音とLEDの表示で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して、他の仲間に緊急を知らせることができます。

“緊急”ボタンを2秒以上押すと、50ページに記載の“F05 緊急モード”で設定した動作をおこないます。



- 緊急アラーム機能の動作を停止させるには、電源を切ってください。

緊急信号を受信したとき

デジタル個別通信時に緊急信号を受信すると、ディスプレイに緊急信号を発信した局のIDを表示し、LEDインジケータが白色で点滅します。さらに、しばらく何も操作をおこなわないと、電子音が鳴り続けます。

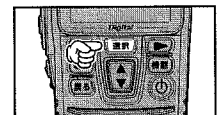
- 電子音は、いずれかのボタンを押すと止まります。
- 緊急ボタンを押すと、緊急受信モードは解除されますが、再び緊急信号を受信すると、再度電子音が鳴り始めます。

緊急信号を受信したときに、PTTボタン(送信ボタン)を押して送信すると、自動的に“一斉呼び出し”(同じチャンネルにあわせている、全ての局を呼び出す)に切り替わり、緊急信号を発信した相手局に対して、音声での問い合わせや、応答をすることができます。

選択ボタン

ボタンを押すことで、次の動作をおこないます。

- 呼び出し先リストの表示
 個別通信運用時に、呼び出し先リスト(一斉、グループ、個別)を表示します。

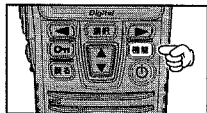


機能ボタン

“機能”ボタンは、押し方により2種類の動作をおこないます。

◎ 簡易リスト

2秒以内で押すと「簡易リスト」が表示され、「CH/ID アイコンの切り替え」や「コールチャンネルの設定」など、無線機の動作設定の確認や変更をすることができます。



詳細は、次ページの“簡易リスト”をご覧ください。

◎ 送受信メニュー(個別運用時のみ有効です)

約2秒以上押し続けると「送受信メニュー」が表示され、“発着信履歴”や“ショートメッセージの送信や確認”、“アンサーバック(問い合わせ)”をおこなうことができます。

個別通信設定と受信待ち受け画面について

混信を防止するため“UC(ユーザーコード)”を設定してください。

また、個別通信を行う場合は、全ての無線機に“IDリスト”を作成し、それぞれ無線機に自局のIDを記憶させる必要があります。

なお本機には、あらかじめ仮のIDリストが作成されていますが、お客様の運用形態に合わせて、再構成することをお勧めいたします(設定は販売店が行いますので、お買い上げの販売店にご相談ください)。

通信方式と設定	個別通信運用(セレコール)	UC 通信運用
必要な設定	UC と ID 設定	UC 設定
◀/▶ ボタンの機能設定	ID 呼び出し先設定	CH チャンネル設定

27

簡易リスト

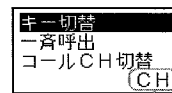
待ち受け画面で“機能”ボタンを押すと、“CH/ID アイコンの切り替え”や“ホームチャンネルの設定”など、無線機の動作設定の変更や確認をすることができます。
※“一斉呼出”は、個別通信時のみ表示されます。

項目	初期値	設定値/表示項目	機能
キー切替	CH	CH/ID	◀/▶ ボタンの動作選択
一斉呼出	通話	通話/アナウンス	一斉呼び出しを受けた際の応答待ち時間の有無設定
コールCH切替	ラスト	ラスト/CH15	コールチャンネルの呼び出し
VOX	OFF	ON/OFF	音声による、送受信切り替え機能の“ON/OFF”
VOX 感度	08	00 ~ 15	音声による、送受信切り替え機能の感度設定
自局情報	-	UC/ 個別 ID/ グループコード	自局のUC、個別IDやグループコードを表示します。
無線機情報	-	周波数	現在の周波数を表示します。

キー切替 ～個別通信で使用する設定です～

◀/▶ ボタンを押したときの動作を設定することができます。

- 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。
- “キー切替”が選択されていることを確認します。
○現在の動作が表示されます。
- “選択”ボタンで、希望の動作を選択します。
“CH”：運用チャンネルの変更。
“ID”：個別通信相手先のIDの選択。
- “戻る”ボタンを押します。
○設定を行う前の画面に戻ります。



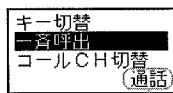
現在の動作

28

一斉呼出 ～個別通信で使用する設定です～

個別通信で“一斉”呼び出しをおこなう際、相手局側の応答待ち時間を無効にすることができます。

- 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで“一斉呼出”を選択します。
○現在の設定が表示されます。
- “選択”ボタンで、希望の動作を選択します。
“通話”：応答待ち時間が有効になります。
“アナウンス”：応答待ち時間が無効になります。
※GDR3500で受信した場合、アナウンス機能は動作しません。
- “戻る”ボタンを押します。
○設定を行う前の画面に戻ります。



現在の設定

コールCH切替

ARIB規格で定めている「呼出用チャンネル」として設定されている、CH15(コールチャンネル)を呼び出します。

- 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで“コールCH切替”を選択します。
- “選択”ボタンを押すと、コールCHに切り替わります。
○コールチャンネルでは、ユーザーコードは自動的に“000”に設定され、秘話通信も自動的に解除されます。
○コールチャンネルは一時的な呼び出しのみに使用し、継続的な通話は他のチャンネルで行うようにしてください。
○コールチャンネルで、再度上記の操作を繰り返すと、コールチャンネルに切り替わる前のチャンネル(ラストチャンネル)に戻ることができます。



29

VOX

音声で送信を起動させるハンズフリー“VOX機能”を、ON/OFFすることができます。

- 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで“VOX”を選択します。
- “選択”ボタンで、希望の動作を選択します。
“ON”：“拡張機能”の“VOX機能”(54ページ参照)で設定した条件でVOX機能が動作します。
“OFF”：VOX機能の動作がオフになります。
- “戻る”ボタンを押します。
○設定を行う前の画面に戻ります。



現在の設定

VOX 感度

VOX機能の動作感度を設定することができます。

- 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで“VOX感度”を選択します。
- ◀/▶ボタンで、希望の感度を選択します。
○VOX感度は、下記の16段階から選択することができます。
“00 ↔ 01 ↔ 02”・・・“13” ↔ “14” ↔ “15”
(感度“低”) (感度“高”)
④ “戻る”ボタンを押します。
○設定を行う前の画面に戻ります。



現在の設定

30

自局情報

無線機に設定してあるUC(ユーザーコード)、個別ID、グループコードを表示させることができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。
- ② ▲/▼ボタンで“自局情報”を選択します。
- ③ “選択”ボタンを押すと、設定されている内容が表示されます。
- ④ “戻る”ボタンを押します。
○ 情報を表示させる前の画面に戻ります。



無線機情報

現在設定してあるチャンネルの周波数を表示させることができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。
- ② ▲/▼ボタンで“無線機情報”を選択します。
- ③ “選択”ボタンを押すと、設定されている内容が表示されます。
- ④ “戻る”ボタンを押します。
○ 情報を表示させる前の画面に戻ります。



送受信メニュー ～個別通信時で使用する機能です～

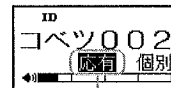
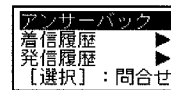
待ち受け画面で“機能”ボタンを約2秒以上押すと、相手と交信可能かどうかの確認、発信履歴、メッセージの確認などの操作をおこなうことができます。

項目	機能
アンサーバック	待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます。
着信履歴	着信した信号の発信元を、新しい順に表示します(最大10件)。
発信履歴	発信した信号の発信先を、新しい順に表示します(最大10件)。
メッセージ送信	あらかじめ登録されたメッセージ(最大10件)を送信することができます。
メッセージ確認	受信したメッセージを、新しい順に表示します(最大10件)。

アンサーバック

待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを2秒以上押します。
- ② “アンサーバック”が選択されていることを確認し、“選択”ボタンを押します。
- ③ 送信状態になり、相手局に対して「問い合わせ」の信号を送出して、その後結果を表示します。
“応有”：相手局と交信可能な状態です。
“応無”：「相手局の電源が入っていない」、「距離が離れすぎている」などの原因で、相手局と交信できない状態です。
※ 相手局がGDR3500の場合は、交信できる状態であっても“応無”となります。
- ④ “戻る”ボタンを押します。
○ 結果を表示させる前の画面に戻ります。

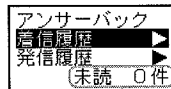


問い合わせの結果

着信履歴

これまでに着信した信号の発信元を、新しい順に最大10件まで表示することができます。PTTボタン(送信ボタン)を押すと、表示されているIDの相手を呼び出すことができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを2秒以上押します。
- ② ▲/▼ボタンで“着信履歴”を選択します。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ 着信履歴が表示されます。
○ ▲/▼ボタンで、着信履歴を切り換えることができます。
○ ▶ボタンを押した後に◀ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます(▶ボタンでキャンセル)。
○ PTTボタン(送信ボタン)を押すと、選択されているIDの相手を呼び出すことができます。
- ⑤ “戻る”ボタンを押します。
○ 着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。

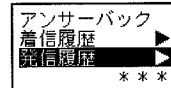


未読件数

発信履歴

これまでに発信した信号の発信先を、新しい順に最大10件まで表示ことができ、PTTボタン(送信ボタン)を押すと、表示されているIDの相手を呼び出すことができます。

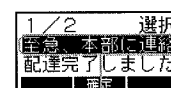
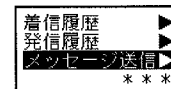
- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを2秒以上押します。
- ② ▲/▼ボタンで“発信履歴”を選択します。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ 発信履歴が表示されます。
○ ▲/▼ボタンで、発信履歴を切り換えることができます。
○ ▶ボタンを押した後に◀ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます(▶ボタンでキャンセル)。
○ PTTボタン(送信ボタン)を押すと、選択されているIDの相手を呼び出すことができます。
- ⑤ “戻る”ボタンを押します。
○ 発信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



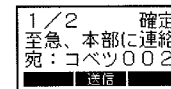
メッセージ送信

あらかじめ登録されたメッセージ(最大10件)を送信することができます。
※メッセージの設定は、販売店にご相談ください。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを2秒以上押します。
- ② ▲/▼ボタンで“メッセージ送信”を選択します。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで送信したいメッセージを選択します。
- ⑤ “選択”ボタンを押すと、選択したメッセージを送信します。
○ メールマークが点滅します。
- ⑥ 個別宛先に送信した場合に限り、相手局に正しくメッセージが届いたかどうかの結果を表示します。
“応有”：正しくメッセージが届いた場合。
“応無”：正しくメッセージが送られなかった場合。
- ⑦ “戻る”ボタンを押します。
○ メッセージを送る前の画面に戻ります。



メッセージを選択



メッセージを受信すると、ディスプレイに「☑」マークが点滅し、同時にメッセージを表示(スクロール)します。

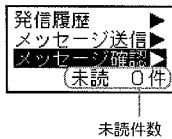
メッセージを確認後“戻る”ボタンを押すと、メッセージを受信する前の状態に戻ります。

※ GDR3500 へのメッセージ送信はできません。

メッセージ確認

これまでに受信したメッセージを、新しい順に最大10件まで表示することができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを2秒以上押しします。
- ② ▲/▼ボタンで“メッセージ確認”を選択します。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ メッセージの着信履歴が表示されます。
 - ▲/▼ボタンで、着信履歴を切り換えることができます。
 - ►ボタンでを押した後に◀ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます(►ボタンでキャンセル)。
- ⑤ “戻る”ボタンを押します。
 - 着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



未読件数

35

拡張機能 ～コールモード～

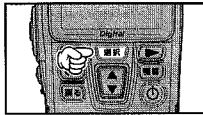
自局ID、UC(ユーザーコード)、秘話IDなど、通信時に使用する情報や機能の設定(12項目)をおこなうことができます。

項目	初期値	設定値	機能
C01 通信方式	UC通信	個別通信 / UC通信	通信時の通信方式の選択
C02 UC	000	000～511	UC(ユーザーコード)の設定
C03 UCベル	0	0～3	同一UC呼び出し電子音の回数設定
C04 自局ID	001	001～200	自局IDの設定
C05 グループID	201	201～230	グループIDの設定
C06 個別ベル	1	0/1/2/3/4/5	個別呼び出し時の電子音の回数設定
C07 グループベル	0	0/1/2/3	グループ/一斉呼び出し時の電子音の回数設定
C08 個別宛先	可変	可変 / 固定	個別通信時の呼び出し先表示の設定
C09 固定宛先	000	000～230	デジタル個別通信の待ち受け画面に表示させる相手局のID設定
C10 緊急個別ID	***	000～255	緊急を知らせたい相手局のID設定(アナログ通信では設定できません)
C11 通話保持時間	5	5/10/15/30/60(秒)	個別通信時の通話保持時間の設定
C12 秘話ID	OFF	OFF/\$01～\$20	プリセット秘話コードの選択。あらかじめ\$01～\$20に、最大20種類の秘話鍵をプリセット可能。

拡張機能(コールモード)の基本的な操作方法を右ページに記します。各項目の具体的な操作方法は、38ページ以降を参照してください。

36

- ① 一度電源を切り、“選択”ボタンを押しながら、電源を入れます。
 - 拡張機能の選択画面が表示されます。
- ② ▲/▼ボタンで“コールモード”を選択します。
- ③ “選択”ボタンを押します。
 - パスワードの入力画面が表示された場合、コールモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
 - パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。
 1. ▲/▼ボタンで数字を選択します。
 2. ◀/▶ボタンで桁を移動させ、▲/▼ボタンで数字を選択します。
 3. 入力が終わったら“選択”ボタンで決定します。
 4. 正しいパスワードが入力されると、コールモードの画面が表示されます。
- ④ ▲/▼ボタンで、設定したい項目を選択します。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。
- ⑥ ▲/▼ボタンで、設定値を変更します。
- ⑦ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



37

C01 通信方式

UC通信と個別通信を切り換えることができます。

- ① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“通信方式”の表示にあわせます。
 - 現在の通信方式が表示されます。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、希望の通信方式を選択します。
 - “UC通信”：UC通信方式で運用するとき。
 - “個別通信”：個別通信方式で運用するとき。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の通信方式



通信方式

38

C02 UC

～UC通信で使用する設定です～

UC(ユーザーコード)を変更することができます。

① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ▲/▼ボタンで、“UC”の表示にあわせませ

○現在のUC(ユーザーコード)が表示されます。

○UC(ユーザーコード)の代わりに“OH”が表示される場合は、すでにチャンネルごとUC(ユーザーコード)が設定されており、変更することができません。

また、現在の値が表示されていても、次の3の操作にて“選択”ボタンを押しても値が変更できない場合は、販売店によりUC(ユーザーコード)の変更が禁止された状態になっています。

これらの状態でUC(ユーザーコード)の変更が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

③ “選択”ボタンを押します。

○UC(ユーザーコード)の百の桁で、カーソルが点滅します。

④ ▲/▼ボタンで、希望の数字を選択します。

○設定できるUC(ユーザーコード)は“000”～“511”です(511以上の数字にあわせることはできません)。

○UC(ユーザーコード)の“000”は、特別なUC(ユーザーコード)として扱われ、受信時は、UC(ユーザーコード)が異なる信号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手としか、通信することができません。

⑤ ▶ボタンを押すと、カーソルが右の桁に移動します。

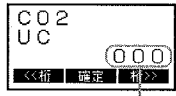
○◀ボタンを押すと、カーソルが左の桁に移動します。

⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、3桁のUC(ユーザーコード)を設定します。

⑦ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。



現在のUC
(ユーザーコード)



UC(ユーザーコード)

C03 UCベル

～UC通信で使用する設定です～

UC通信で運用中、同一UCの他局から呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を変更することができます。

① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ▲/▼ボタンで、“UCベル”の表示にあわせませ

○現在の電子音が鳴る回数が表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ▲/▼ボタンで、希望の回数を選択します。

○設定できる回数は“0”～“3”です。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C04 自局ID

～個別通信で使用する設定です～

無線機に設定されている自局のIDを変更することができます。

① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ▲/▼ボタンで、“自局ID”の表示にあわせませ

○現在の自局IDが表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ▲/▼ボタンで、希望の数字を選択します。

○あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。

○登録されているID以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ ▶ボタンを押すと、カーソルが右の桁に移動します。

○◀ボタンを押すと、カーソルが左の桁に移動します。

⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、3桁のIDを設定します。

⑦ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。



現在の自局ID



自局ID

C05 グループID

～個別通信で使用する設定です～

無線機に設定されているグループIDを変更することができます。

① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ▲/▼ボタンで、“グループID”の表示にあわせませ

○現在のグループIDが表示されます。

○現在のグループIDに“ALL”が表示されている場合は、販売店により複数のグループIDが登録されています。変更が必要な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ▲/▼ボタンで、希望のIDを選択します。

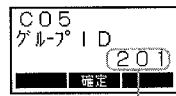
○あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。

○登録されているID以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。



現在のグループID



グループID

C07 グループベル

～個別通信で使用する設定です～

グループノイズ呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ▲/▼ボタンで、“グループベル”の表示にあわせませ

○現在の電子音が鳴る回数が表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。

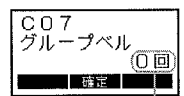
④ ▲/▼ボタンで、希望の回数を選択します。

○設定できる回数は“0”～“3”です。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C06 個別ベル

個別呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ▲/▼ボタンで、“個別ベル”の表示にあわせませ

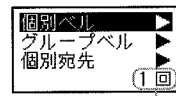
○現在の電子音が鳴る回数が表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ▲/▼ボタンで、希望の回数を選択します。

○設定できる回数は“0”～“5”です。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C08 個別宛先

～個別通信で使用する設定です～

応答待ち時間(通話タイマー)が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件を設定することができます。

① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ▲/▼ボタンで、“個別宛先”の表示にあわせませ

○現在の設定が表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ▲/▼ボタンで、希望の表示方法を選択します。

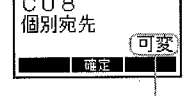
“可変”：直前の通話で設定した呼び出し先のIDを表示します。

“固定”：あらかじめ設定している(C12 固定宛先で設定)呼び出し先のID表示に変わります。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

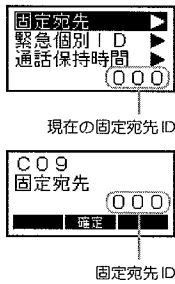


設定

C09 固定宛先

～個別通信で使用する設定です～
個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局のIDを設定します。

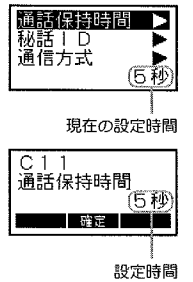
- ① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“固定宛先”の表示にあわせませす。
○ 現在設定されているIDが表示されます。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、希望の数字を選択します。
○ 設定できるIDは“000”～“230”です。
○ あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。
○ 登録されているID以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ ▶ボタンを押すと、カーソルが右の桁に移動します。
○ ◀ボタンを押すと、カーソルが左の桁に移動します。
- ⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、3桁のIDを設定します。
- ⑦ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



C11 通話保持時間

～個別通信で使用する設定です～
応答待ち時間(通話タイマー)の時間を設定することができます。

- ① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“通話保持時間”の表示にあわせませす。
○ 現在の設定時間が表示されます。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、希望する応答待ち時間を選択します。
○ 設定できる時間は“5s”(5秒)、“10s”(10秒)、“15s”(15秒)、“30s”(30秒)、“60s”(60秒)です。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



C10 緊急個別ID

～個別通信で使用する設定です～
出荷時の設定は、同一ユーザーの全員に緊急を知らせる“緊急一斉”に設定されていますので、本設定を行うことはできません。

緊急を知らせたい相手局のIDを変更できる“緊急個別”方式への変更は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ◎ 緊急一斉
同じユーザーの全ての局に対し、一斉に緊急を知らせることができません。
- ◎ 緊急個別
特定の相手局にだけ、緊急を知らせることができます。

C12 秘話ID

～個別通信で使用する設定です～
秘話通信機能の動作を、ON/OFFすることができます。

秘話通信機能を使用するには、あらかじめ秘話コードを設定しておく必要があります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

- ① 37ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“秘話ID”の表示にあわせませす。
○ 現在の設定が表示されます。
○ “ALL OFF”が表示される場合は、秘話機能の使用が禁止されていますので、設定を行うことはできません。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、秘話通信機能のOFFまたは秘話コードを選択します。
“\$01～\$20”：設定した秘話コードで秘話機能が動作します。
“OFF”：秘話通信機能がオフになります。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



- 秘話通信機能が動作しているときは、ディスプレイに“秘”が点灯します。
- 交信したい相手の無線機にも、同じ秘話コードが設定されていないと、交信することはできません。
- お互いの秘話コードが異なる場合は、相手の音声を電氣的に秘話処理した電子音が聞こえるだけで、通話内容を正しく聞き取ることができません。
- 秘話信号を受信すると、LEDが青色で点滅します。
- 秘話通信機能が動作しているときに送信すると、LEDが青色で点灯します。

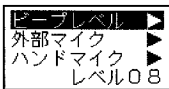
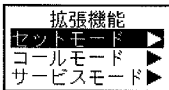
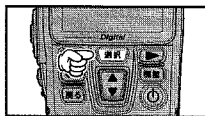
拡張機能 ～セットモード～

本機に内蔵された、各機能の設定(16項目)をおこなうことができます。

項目	初期値	設定値	機能
F01 ビープレベル	08	00～15	操作音(ビープ音)の音量設定
F02 外部マイク	0	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	外部マイクの感度設定
F03 ハンドマイク	+6	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	コントロールマイクの感度設定
F04 マイクスピーカ	AUTO	ON/OFF/AUTO	マイクロホンのスピーカ動作設定
F05 緊急モード	BP	BP/T/S/BP+T/OFF	緊急モードの動作設定
F06 TXビープ	OFF	ON/OFF	送信開始時の電子音設定
F07 RXビープ	OFF	ON/OFF	相手局の送信終了音の設定
F08 送信出力制限	High有効	High有効/Low固定 受信専用	送信出力の設定
F09 明るさ調整	2	OFF/1～3	ディスプレイの明るさ設定
F10 弱電界アラーム	OFF	ON/OFF	受信信号が極端に弱い場合に鳴るアラームの設定
F11 不在着信ベル	OFF	OFF/5秒毎×2 2秒毎/1分毎/連続	個別着信時に応答しなかった場合に鳴るベルの設定
F12 VOXスイッチ	外部PTT	外部PTT/簡易JIS	音声で送受信を切り替えるVOX機能の設定
F13 IDモニター	OFF	ON/OFF	個別通信設定時、相手局のIDを表示します
F14 アンサーバック	OFF	ON/OFF	相手局に電波が届いているかを確認する機能の設定
F15 データ通信	GPS	GPS	データ通信の設定
F16 設定リセット	-	-	拡張機能の設定を初期値(御購入時の状態)に戻します

セットモードの基本的な操作方法を右ページに記します。
各項目の具体的な操作方法は、48ページ以降を参照してください。

- ① 一度電源を切り、“選択”ボタンを押しながら、電源を入れます。
○ 拡張機能の選択画面が表示されます。
- ② ▲/▼ボタンで“セットモード”を選択します。
- ③ “選択”ボタンを押します。
○ パスワードの入力画面が表示された場合、セットモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
○ パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。
 1. ▲/▼ボタンで数字を選択します。
 2. ◀/▶ボタンで桁を移動させ、▲/▼ボタンで数字を選択します。
 3. 入力が終わったら“選択”ボタンで決定します。
 4. 正しいパスワードが入力されると、セットモードの画面が表示されます。
- ④ ▲/▼ボタンで、設定したい項目を選択します。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。
- ⑥ ▲/▼ボタンで、設定値を変更します。
- ⑦ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



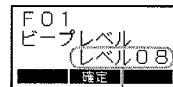
F01 ビープレベル

ボタンやスイッチを押したときに鳴る確認音の、音量を設定することができます。

- ① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“ビープレベル”の表示にあわせませす。
○ 現在の音量レベルが表示されます。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、希望の音量を選択します。
○ 設定できる音量レベルは“00”～“15”です。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の音量レベル



音量レベル

F02 外部マイク

外部マイクロホンのマイク感度を設定することができます。

- ① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“外部マイク”の表示にあわせませす。
○ 現在のマイク感度が表示されます。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、希望の感度を選択します。
○ マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。



現在のマイク感度

(低)“-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10”(高)

- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



マイク感度

47

F03 ハンドマイク

コントロールマイクの、マイク感度を設定することができます。

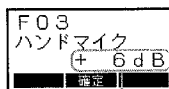
- ① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“ハンドマイク”の表示にあわせませす。
○ 現在のマイク感度が表示されます。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、希望の感度を選択します。
○ マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。



現在のマイク感度

(低)“-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10”(高)

- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



マイク感度

F04 マイクスピーカ

コントロールマイクに内蔵してあるスピーカの動作を変更することができます。

- ① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“マイクスピーカ”の表示にあわせませす。
○ 現在の動作が表示されます。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、希望の動作を選択します。
“ON”：内蔵スピーカから音が出ます。
“OFF”：内蔵スピーカからは、音が出なくなります。
“AUTO”：外部スピーカを接続すると、内蔵スピーカからは、音が出なくなります。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の動作



動作

F05 緊急モード

緊急アラーム機能の動作を設定することができます。

- ① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“緊急モード”の表示にあわせませす。
○ 現在の動作が表示されます。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、希望の動作を選択します。



現在の動作

“OFF”：緊急アラーム機能は動作しません。

“BP”：スピーカから、緊急アラームを鳴らします。

“T”：自局のIDを含んだ緊急信号を送出します。また、緊急動作中にPTTボタン(送信ボタン)を押すと、相手局と通話することができます。

※ この設定は、個別通信時のみ動作いたします。

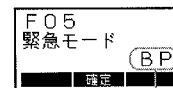
“S”：サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示とLEDは緊急動作中も変化しません。また、緊急動作中にPTTボタン(送信ボタン)を押すと、相手局と通話することができます。

※ この設定は、個別通信時のみ動作いたします。

“BP+T”：上記“T”の動作を行った後、“BP”の動作を行います。

※ この設定は、UC通信時には“BP”の動作を行います。

- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



動作

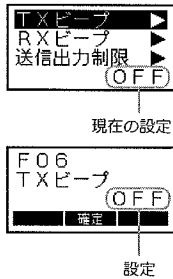
50

49

F06 TXビープ

送信開始時に、通話ができる状態になったことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFFすることができます。

- 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ▲/▼ボタンで、“TXビープ”の表示にあわせ
ます。
○現在の設定が表示されます。
- “選択”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで、TXビープのオン/オフを選択
します。
“on”：TXビープが動作し、通話ができる状態にな
るとビープ音が鳴ります。
“off”：TXビープの動作がオフになります。
- “選択”ボタンを押します。その後電源を切る
と設定は終了です。

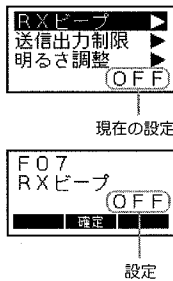


F07 RXビープ

受信中の通話が終了したことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFFすることができます。

デジタル個別通信時または、“000”以外の同じユーザーコードに設定してある相手局の信号を受信した時のみ動作します。

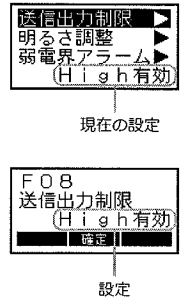
- 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ▲/▼ボタンで、“RXビープ”の表示にあわせ
ます。
○現在の設定が表示されます。
- “選択”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで、RXビープのON/OFFを選択
します。
“on”：RXビープが動作し、通話ができる状態にな
るとビープ音が鳴ります。
“off”：RXビープの動作がオフになります。
- “選択”ボタンを押します。その後電源を切る
と設定は終了です。



F08 送信出力制限

送信出力(放射する電波の強さ)を“High有効”(5W)と“Low固定”(1W)または、送信を禁止する“受信専用”から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を“Low”に、本機を受信専用機として使用する場合は“受信専用”に設定してください。

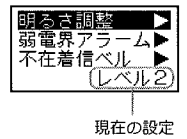
- 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ▲/▼ボタンで、“送信出力制限”の表示にあ
わせ
ます。
○現在の設定が表示されます。
- “選択”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで、希望の設定を選択します。
“High有効”：送信出力が5Wに設定されます。
“Low固定”：送信出力が1Wに設定されます。
“受信専用”：PTTボタン(送信ボタン)を押しても、
送信しなくなります。
- “選択”ボタンを押します。その後電源を切る
と設定は終了です。
○ご購入時の設定で、周波数ごとの送信出力設定
が“Low”に設定されている場合は、上記のTX
パワーの設定値が“High有効”となっていて実
際の送信出力は“Low固定”(1W)となります。



F09 明るさ調整

コントロールマイクのディスプレイの明るさを調節することができます。

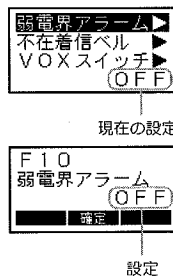
- 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ▲/▼ボタンで、“明るさ調整”の表示にあ
わせ
ます。
○現在の設定が表示されます。
- “選択”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで、希望の設定を選択します。
○設定できる明るさは“OFF”(常時消灯)、
“レベル1”(暗い)～“レベル3”(明るい)です。
- “選択”ボタンを押します。その後電源を切る
と設定は終了です。



F10 弱電界アラーム

受信している信号が、極端に弱くなったことを知らせるアラーム音を、ON/OFFすることができます。

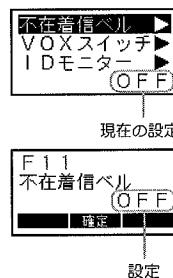
- 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ▲/▼ボタンで、“弱電界アラーム”の表示にあ
わせ
ます。
○現在の設定が表示されます。
- “選択”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで、弱電界アラームのON/OFFを
選択
します。
“on”：弱電界アラームが動作し、受信信号が極端
に弱くなると、アラーム音が鳴ります。
“off”：弱電界アラームの動作がオフになります。
- “選択”ボタンを押します。その後電源を切る
と設定は終了です。



F11 不在着信ベル

相手からの個別呼び出しを受けた後、応答しなかった場合、設定した条件で「ブープ」という電子音を鳴らすことができます。なお、“グループ呼び出し”や“一斉呼び出し”での着信の場合は、電子音は鳴りません。

- 47ページの①～③の操作をおこない、セット
モードにします。
- ▲/▼ボタンで、“不在着信ベル”の表示にあ
わせ
ます。
○現在の設定が表示されます。
- “選択”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで、希望の設定を選択します。
“OFF”：不在着信ベルの動作がオフになります。
“5秒×2”：着信後、5秒間経過するとベルが鳴
り、更に5秒間経過すると再度ベルが
鳴ります。
“2秒毎”：着信後2秒毎にベルが鳴ります。
“1分毎”：着信後1分毎にベルが鳴ります。
“連続”：着信するとベルが鳴り続けます。
- “選択”ボタンを押します。その後電源を切る
と設定は終了です。

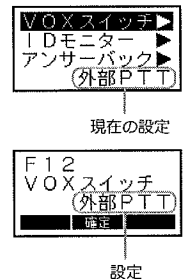


F12 VOXスイッチ

外部マイクを利用したハンズフリー運用(音声で送受信を切り替えることができる“VOX機能”)のための設定で、簡易リストの“VOX”(30ページ参照)を“ON”にしたときの、VOX機能の動作条件を設定します。

なお、ご利用にあたっては、アクセサリ用コネクタとともにハンズフリーアクセサリの取り付けが必要になりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 47ページの①～③の操作をおこない、セット
モードにします。
- ▲/▼ボタンで、“VOXスイッチ”の表示にあ
わせ
ます。
○現在の設定が表示されます。
- “選択”ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンで、VOX機能の動作条件を選択
し
ます。
“外部PTT”：ハンズフリーアクセサリのPTTボ
タンを押したときのみ、VOX機能
が動作します。
“簡易リスト”：ハンズフリーアクセサリのPTTの
状態に関わらず、簡易リストの
“VOX”を“ON”にすると、VOX機
能が動作します。
- “選択”ボタンを押します。その後電源を切る
と設定は終了です。



F13 IDモニター ～個別通信で使用する機能です～

個別通信設定時、通信中に相手局のIDを表示して確認することができます。

- ① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“IDモニター”の表示にあわせませす。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、IDモニターのON/OFFを選択します。
“on”：相手局のIDを表示して確認することができます。
“off”：IDモニターは動作しなくなります。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F14 アンサーバック ～個別通信で使用する機能です～

アンサーバック機能を、ON/OFFすることができます。

- ① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“アンサーバック”の表示にあわせませす。
○現在の設定が表示されます。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、アンサーバックのON/OFFを選択します。
“on”：アンサーバック機能が動作します。
“off”：アンサーバックの動作がオフになります。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F15 データ通信 ～個別通信で使用する機能です～

データ通信を行う際に設定します。データ通信に関しては、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

- ① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“データ通信”の表示にあわせませす。
○現在の設定が表示されます。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ ▲/▼ボタンで、データ通信の種別を選択します。
“GPS”：GPS機能を利用する際に選択します。
○GPSのみ表示されます。
- ⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

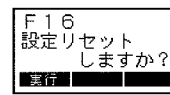
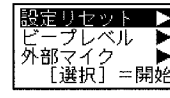


設定

F16 設定リセット

拡張機能の設定を、ご購入時の状態(販売店設定値)に戻すことができます。

- ① 47ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ▲/▼ボタンで、“設定リセット”の表示にあわせませす。
- ③ “選択”ボタンを押します。
- ④ “←”ボタンを押すと、設定がリセットされます。
○リセットを中止する場合は、“戻る”ボタンを押してください。



故障かな?と思ったら

間違った操作をしていませんか?
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

- ◎電源が入らない!
 - ・DC電源または、DC電源コードのヒューズが切れていませんか?
 - ・お車のバッテリーの電圧は正常ですか?
 - ・コントロールマイクは正しく接続されていますか?
▶無線機本体の電源スイッチを約1秒押しなととき、無線機本体のみ電源が入る場合は、コントロールマイクの不具合が考えられます。
- ◎送信できない!
 - ・PTTボタン(送信ボタン)を正しく押していますか?
 - ・送信出力の設定が“受信専用”になっていませんか?
 - ・アンテナは正しく接続されていますか?
- ◎通話できない!
 - ・相手局と同じチャンネルに設定していますか?
 - ・相手局との距離が離れすぎていませんか?
 - ・相手局と同じUC(ユーザーコード)に設定していますか?
 - ・秘話通信機能が動作していませんか?
▶お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、通話することはできません。
 - ・アンテナは正しく接続されていますか?

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店またはお近くの営業所/サービスセンター宛にお問い合わせください。

オーバーホールのお勧め

下記のいずれかに該当する場合は、オーバーホールをお勧めいたします。
なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。

- ・お買い上げから1年経過した後
- ・オーバーホールを行って1年経過した後
- ・落下や衝撃が加わった場合
- ・キズ劣化等が確認された場合

定格

- 一般
- 送受信周波数：デジタル簡易無線局(6.25kHz間隔、30波)
35.12000MHz～35.138125MHz
- 電波型式：F1E、F1C、F1D、F1F
通信方式：単信方式、単向通信方式、同報通信方式
電源電圧：DC 13.8V ± 10%またはDC 26.4V ± 10%
消費電流：DC 13.8V 送信時(出力5W時) 約1.3A
受信定格出力時 約0.5A
受信待ち受け時 約0.3A
- 温湿度範囲：温度 -20℃～+60℃
湿度 95%以下
- 寸法(W×H×D)：本体 124mm×24.9mm×153.8mm(突起物を除く)
コントロールマイク
60mm×120mm×24mm(突起物を除く)
- 重量：本体 約870g
コントロールマイク 約230g
- ※ RoHS 指令対応

送信部

- 空中線電力：5W/1W(+20%、-50%以内)
空中線インピーダンス：50Ω 不平衡
発振方式：水晶発振制御による周波数シンセサイザ方式
周波数許容偏差：±1.5ppm以内
変調方式：4値FSK
占有周波数帯域幅：5.8kHz以下
最大周波数偏移：±1324Hz以内
隣接チャンネル漏洩電力：-52dB以下(5W時)
スプリアス発射：2.5μW以下
不要輻射：2.5μW以下
標準変調入力：-26dBm ± 5dB(1kHz 60%変調)
外部マイク入力：600Ω 80mVrms(標準変調時)

受信部

受信方式：ダブルスーパーヘテロダイン方式
 中間周波数：第一 50.85MHz
 第二 2.304MHz
 局部発振周波数：第一 受信周波数 - 50.85MHz
 第二 48.546MHz
 局発周波数変動：± 1.5ppm以内
 受信感度：-5dB μ V(BER 1 \times 10⁻²)
 スプリアスレスポンス：70dB以上
 隣接チャンネル選択度：6.25kHz 60dB以上
 相互変調特性：68dB以上(± 12.5kHz, ± 25kHz)
 低周波出力：コントロールマイク 0.7W以上
 外部スピーカ出力 4 Ω 4W以上
 低周波出力インピーダンス：コントロールマイク 16 Ω
 副次的に発する電波等の強度：4nW以下



モトローラ製品のお問い合わせ先..... 03-3719-2231
 ホームページ..... <http://motorola-bizunit.jp>

仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。

モトローラ、MOTOROLA、モトローラのロゴマーク及び®表示が付された商標は米
 国およびその他の国における Motorola, Inc. の登録商標です。文中に記載されている
 他社の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。
 本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」(日本)及び「米国輸出管理規制」による規
 制を受けますので、当製品を輸出する場合は、同法に基づく手続きが必要です。

株式会社バーテックススタンダード 〒 153-8644 東京都目黒区中目黒 4-8-8

© 2010 VERTEXSTANDARD CO., LTD. All rights reserved.

